

橋わたし

令和7年11月定例会の内容をお届けします。

CONTENTS

11月定例会、ここがポイント！
ここが知りたい！一般質問／議会だよりの愛称が決定しました！



特集

声の先に
マチが見える

Close up
Shimada

島田の「今」を創る人



島田市議会

もりした
しげふみ
森下 恵文さん

島田市消防団 団長

地域を守る、想いをつなぐ

島田を守る身近な存在、地域防災を支える消防団

Q 消防団員の数が減少し、高齢化が進んでいると聞いていますが、どのような対策をお考えですか。

A 消防団員は以前は農業など自営業の人が多く、仕事や地域の繋がりを使得って知り合いを勧誘していました。最近はサラリーマンが多く、地域の中で人と人との繋がりが希薄化し、新しい団員の勧誘数が減少しています。

対策として自治会・町内会に声を掛けて、若年層の紹介を依頼しています。また地域のイベント時には消防車を出したり、チラシを配ったりしてPRしています。しかし、ここ数年は退団者に対して入団者は半数以下の状況が続いています。

なお、団員総数715人のうち半数近くの331人が40歳未満と、高齢化傾向はありますが、若年層も相当数入ってきています。

Q 消防団員の数は足りていますか。消活動等に支障がでてしまったことはありませんか。地域によって団員数に格差がありますか。

A 条例定数860人に対し団員総数は715人で、近隣市よりは多いです。しかし日中、遠方勤務の人もいるので、有事の際には十分とは言いがたいです。

一方、出動する消防団員の数が少ない場合には、常備消防が増員態勢で来るので、支障が出たことはありません。

なお、以前は地域間格差があったので、一度再編をしました。



- Q** サラリーマンの方も多いと聞きました。平日の消防団の活動との両立に課題はありますか。
- A** 訓練や、消防車両の点検・整備は主に平日の夜、土日の早朝にやっているのですが、サラリーマンの団員の多くが参加できています。
- Q** 島田市では「消防団協力事業所表示制度」により事業所の理解や協力を促していますが、制度の実効性に課題はありますか。
- A** 今年度2件認定され、累計50件の事業所が認定されました。各事業所とも消防団活動をよく理解してくださり、感謝しています。
- Q** 女性団員の役割は何ですか。
- A** 現在女性団員は10名で、救急救命の任務、夜警をメインに、イベント時は団員勧誘PRのためのチラシを配っています。なお、救命対応等の任務に特化した機能別団員90名のうち女性は1名です。
- Q** 消防が島田市消防本部から静



岡市消防局へ統合・広域化されたが弊害はありますか。

A 最初は戸惑いがありました。今は慣れました。火災時は、まず近くの消防署が出動します。遠方の消防が来る場合でも、現場の地図・消火栓の位置等の情報を事前に提供していますので、現場での活動に支障はないと思います。

志太地域等との境界域では、両方の消防が出るようになっていきます。なお、島田市消防団は、消防団志太支部に所属していますので、藤枝市・焼津市消防団との連携に問題ありません。

Q ドローンの導入など新しい技術を含めて消防・水防の現場に必要な技術の習得で課題はありますか。

A 市の危機管理課でドローンを持つていますが、その活用が今後の課題となっています。

一方、新消防車両導入時には、機械班・点検班の班長がすぐに対



応し、団員全員に運転・操作技術の共有化を図っています。

Q 一月四日の出初式の日は、団員によっては会社出勤日でもあり、サラリーマンにとっては負担感があるのではないのでしょうか。

A 出初式には、サラリーマンの団員もほぼ全員出席しています。特段の負担感はありません。

Q 報酬という点ではいかがですか。

A 命の危険のある活動をしていることへの対価としては、けっして十分ではないとは思っています。

Q 水防団は消防団が兼ねていますが、水害への対応で要望や課題はありますか。

A 自主防災組織の方々にも水害等の対応のノウハウを身に付けて、地元の危険な場所を把握しておいていただきたいと思います。

消防団ももちろん出動しますが、若し消防団員が命の危険のある中で、災害対応をしているというこ

とを是非ご理解いただき、有事の際は密なる連携をお願いいたします。

Q 最後に、市や市民に向けて、理解して欲しいことや、協力して欲しいことはありますか。

A 有事の際には、私たち消防団はいかに初動で常備消防と連携を取ることができかが大事だと思っています。その上で、行政や自主防災組織とも一致団結して事に当たっていきたくと思っています。消防団だけでは大きな災害への対応が出来ません。

消防団の若者たちは、昼夜を問わず、出動命令が来れば駆けつけます。その後は、命に関わるシビアな状況の中での活動が待っています。ボランティアで、命懸けでやっています。市民の皆さんはこのことを忘れないで欲しいです。

取材ノートから

「現場は一つ間違えば命に関わるだけに、団員がケガなく無事に家に帰って欲しい、というのが一番の願いです」との森下団長の言葉が印象的でした。東日本大震災で、津波避難誘導任務中の消防団員が殉職した事例を思い起こし、災害対応は、消防団員の命懸けの任務に支えられている、なんと崇高で有難いことかと感動しました。

取材・文：広報広聴特別委員会



11月定例会 ここがポイント！



令和7年11月定例会は、11月20日（木）から12月19日（金）までの30日間行いました。提出された議案・議員発議案一件の審議結果のうち、議会が特に注目した議案を紹介します。

市長提出議案 35件

予算	14件	条例	12件
報告	2件	その他	7件

議案の詳細は
こちら



議案の審査結果

Pick up 1

金谷公民館の運営を見直します

議案第79号 島田市立公民館条例の一部を改正する条例について

議案第83号 指定管理者の指定期間の変更について（島田市立金谷公民館）

全会一致で可決

▶概要

令和5年度から金谷地区生活交流拠点のSC醸成に向けて指定管理者制度を導入し、運営事業を行ってきたが、その対象施設の1つである金谷公民館の運営について市の直営に変更することとなった。運営事業の見直しについては金谷公民館で実施される主催事業の実施回数が想定より少なく、経費や利用者意見を踏まえ判断したためである。運営の見直しにより追加で費用が発生することとなった。



Q

金谷公民館の主催事業が減少したことによりSC醸成に問題があるのであれば、現在の指定管理者では金谷地区生活交流拠点のSC醸成に問題があるのではないかと。

A

金谷公民館の主催事業に関しては、これまでの講師との関係や金谷地区の地域性などもあり、民間のノウハウだけでは対応が困難であった。金谷地区生活交流拠点全体のSC醸成においては、民間のノウハウが生かせる。

Pick up 2

島田市野外活動センター「山の家」新たな指定管理者決定！

議案第87号 指定管理者の指定について（島田市野外活動センター山の家）

全会一致で可決

▶概要

島田市野外活動センター「山の家」の指定管理者が決定した。

山の家は昭和61年に造られた「野外活動施設いこいの広場かわぐち」と、昭和62年に建築された「山村都市交流センター山の家」を、平成17年に「島田市野外活動センター山の家」に改称して現在に至る。

定休日は繁忙期を除く火曜日（国民の祝日の場合は翌日）年末年始（12月29日～1月3日）

▶指定管理者名

株式会社 空と大地と（島田市東町）

▶事業費

7,814万6,000円（指定の期間総額）

▶スケジュール（指定の期間）

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで



Q

星空観測会やチェアリング、メディア活用など新しい視点で山の家を活用できる可能性がある。また、ひきこもり支援や障害者施設の運営もされているので、そういった取組を活かせる企画を積極的にしてはどうか。

A

提案を踏まえ、指定管理者と協議し、メディア活用も含めて検討する。

Pick up 3

中央公園ほか6施設の新たな指定管理者決定！

議案第81号 指定管理者の指定について（中央公園ほか6施設）

全会一致で可決

▶概要

中央公園と周辺施設のミニ鉄道施設・島田市ばらの丘公園、島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）、庭球場、親子プール及び伊太庭球場の指定管理者が決定した。

▶指定管理者名

しまだローズパートナーズ

代表企業・株式会社スポーツプラザ報徳

▶事業費

3億2,423万9,000円

▶スケジュール（指定の期間）

令和8年4月1日から令和11年3月31日まで



Q

施設の利用者が減少しているが、要因をどう捉えているか。

A

猛暑に加えスポーツセンターの電気ケーブルの故障で使用できない日があった。ばらの丘公園において天候不順による開花の遅れによる影響があった。

Q

複数施設の包括管理ということで省力化と、施設連携によるイベントの共催の成果はどうか。

A

イベントの重複による駐車場の混雑解消、写真展やポスターの掲示の連携ができた。

市からのおもな報告事項

総務生活
常任委員会

輝く人材育成事業～花咲かプロジェクト～

日本は、ジェンダー・ギャップ指数が政治に関する分野で低いため、政治等について関心を持ち、政治やその他の政策方針決定過程に参画し、活躍する人材の育成を目指すことを目的とした人材育成事業を実施しました。

事業実施の期間としては、令和7年12月3日から令和8年3月16日までで、全4回の講座となっています。受講者の対象は、20代から40代の女性をメインターゲットとしていますが、その他関心のある方であれば、男性の参加も可能となっています。会場は島田市役所で、受講料は無料です。

Q この事業は、これまで行われた女性議会や女性フォーラムとは関係なく、別の事業なのか。

A 別の事業というわけではなく、参加された方が、女性フォーラム等に登壇していただけたらと考えている。

総務生活
常任委員会

アーバンスポーツを活用した島田駅前活性化事業

9月と11月に会場や種目が異なるアーバンスポーツイベントを実証実験として開催しました。9月のイベントは、スケートボード、BMX、パルオニの体験会やプロ上級者によるデモンストレーションを行いました。マルシェやダンスイベント等の同時開催イベントもあり、約1,300人が来場され、体験会には91人が参加されたと説明がありました。11月のイベントは、しまだ産業まつり内で実施されスケートボード、フリースタイルフットボール、フリースタイルバスケットボール、ダブルダッチ、また島田市出身のスケーター、根附海龍選手ほかプロ選手を招聘し、デモンストレーション及び体験会を実施しました。



写真提供：URBAN SPORTS CAMP

Q 事業の目的として、恒常的な駅前の賑わい創出だと考えるが、イベント時は、駐車場や道路が利用された。今後アーバンスポーツを行う候補地を考えているのか。

A 現時点では具体的な候補地はないが、今回の実証事業の結果を踏まえ、今後検討していきたいと考えている。

総務生活
常任委員会

緑茶化計画首都圏販路拡大事業

緑茶化計画首都圏販路拡大事業「SHIMOKI”CHA” RYOKU CHA COLLEGE」を実施しました。

これは下北沢のSHIMOKITA COLLEGEと連携して、令和7年9月5日から10月5日まで、SHIMOKITA COLLEGEイベントスペースで、「地球上でもっとも緑茶を愛する街」をコンセプトとした店舗を出店したものです。

購入者数は5,058人で、売上金額は約714万円となりました。販売点数の割合は、テイクアウト緑茶 約27%、ソフトクリーム 約25% お茶（茶葉） 約30%、和菓子・飲料等 約15%、その他3%となったとの説明がありました。



Q

このような分析結果を今後どのように他の事業に反映させていくのか。

A

下北沢での約1か月間の出店において、本市の認知度向上やファンづくりを行いつつ、消費者動向などの情報を得ることができた。今回の結果を今後のシティプロモーション事業に生かし、市製品の販路拡大や市内への誘客促進などに繋げていきたいと考えている。

厚生教育
常任委員会

大規模災害時の医療救護体制の変更について

島田市では現在、大規模災害発生時に発災後おおむね72時間にわたって、市内6か所へ救護所を設置し、負傷者に対し必要な処置を行うことになっているが、円滑な救護所運営を行うための必要な人員の確保、災害対策本部との情報の共有体制が十分ではないため、令和8年4月1日より島田第一中学校救護所、六合公民館救護所を保健福祉センター救護所へ集約するとの説明がありました。

Q

大規模災害が発生した際に、集約した救護所に集まる市民がどのくらいいるのか考慮しているか。救護所スペースの問題はないのか。

A

これまで医療救護所が立ち上がった実績がなく、医療救護所に集まってくる人数の想定はしていないが、まずはスタッフを集約して迅速で現実的な救護所を立ち上げようとしている。

ここが知りたい！



一般質問



市の方針や市民の皆さんの生活に関する内容全般についての考えを聞く
一般質問には19人が登壇しました。

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。



目次

信頼される学校	厳しい教育現場	選択と集中	水害対策	水害を治める！	キャッシュレス	金谷公民館	当初予算編成は	市民が主役	交通安全	障がい者福祉	伝統の島田大祭	茶園の価値	水道管の老朽化	楽しく通う学校	旧金中跡地	運営状況の実態	多文化共生	儲かる観光戦略
---------	---------	-------	------	---------	---------	-------	---------	-------	------	--------	---------	-------	---------	---------	-------	---------	-------	---------

P14	P14	P14	P13	P13	P13	P12	P12	P12	P11	P11	P11	P10	P10	P10	P9	P9	P9	P8
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----

信頼される学校



誠意・誠実に対応し、揺るぎない『信用・信頼』を勝ち得てほしい

たき よしのぶ
瀧 好伸議員が問う

信頼される学校づくりとは？



答弁 基本施策7項目を着実に実行すること

- Q** 上記、基本施策7項目とは。
- A** いじめを生まない学校づくりの推進、社会に開かれた学校教育の推進、学校事故防止に向けた施設・通学経路等の点検整備、防犯体制の充実、自然災害から命を守るための体制づくりと児童生徒の対応力の育成、感染症対応と教育活動の継続、頼もしい教職員の育成である。
- Q** 「頼もしい教職員像」とは。
- A** 専門領域に精通、心身ともに健全、教育者としての教科、生徒指導力、学級経営力等の専門性。
- Q** 教職員の不祥事根絶のための研修とは。
- A** 年間で不祥事根絶取組計画を立て、計画的に研修を実施している。過去に起きた不祥事の事例を用いて、グループワーク形式での検討やロールプレイングを取り入れ、当事者意識を持つ機会としている。

厳しい教育現場



できない理由ではなく、できるように知恵を出して欲しい

うちだ おさむ 内田 修 議員が問う 学校の空調設備設置の必要性は



答弁 学校施設の空調設備の設置は必要である

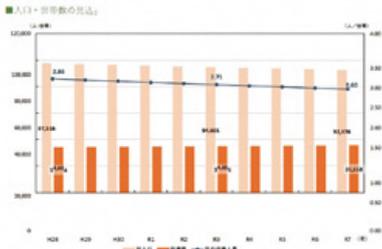
- Q** 物価高騰、人件費上昇、国の補助金の打ち切り等、トータルコストで見た場合の負担が年々増大することに対する見解は。
- A** 補助金や地方債の活用など財源を有効に使う方法を検討して、できる限り早く設置していきたい。
- Q** 島田市の教職員の不足の状況は。
- A** 年度当初は無かったが、11月現在2名欠員の状況。
- Q** 支援員の増員、校内教育支援センターの設置についての計画は。
- A** 学校関係者と連携を図りながら状況を把握し、対応したい。
- 風水害に対する改修対応について**
- Q** 被害の把握と対応方法は。
- A** 市民や自治会からの報告、職員のパトロールで被害を把握しており対応は自治会と協議し優先度を決めて対応している。

選択と集中

いしかわ しん たるう 石川 晋太郎 議員が問う 市財政の中長期的な見通しは？



答弁 しばらくは厳しい状況が続くと思われる



厳しい財政状況でも、住みたい・住み続けたいと思ってもらえる街づくりを!!

- Q** 市財政への影響が大きい、公共施設等の修繕・更新に対する取り組みを伺う。
- A** 令和3年度からの40年間で約2161億円が必要になると推計。これに対し、品質、保有量及び管理費の適正化を図り、約1560億円に抑える計画としている。
- Q** 市内市立小中学校施設に関して、12校は建設から40年を超えている。修繕・更新の見通しを伺う。
- A** 初倉地区における施設一体型小中一貫校建設に向けた検討や、旧市内では学区再編、校舎等の老朽化への対応について協議している。
- Q** 今後も公費負担増が予測される後期高齢者医療と介護保険事業に関して現状を伺う。
- A** 令和6年度一般会計からの繰出金額は、後期高齢者医療が約10億、介護保険事業は約11億円となっている。

水害対策

いのうえ あつし 井上 篤 議員が問う ハザードマップは有効か



答弁 浸水箇所は、おおむね想定区域内だった



河川氾濫だけでなく、排水路などがあふれた場合の浸水範囲マップの作成を提案

- Q** 台風第15号到来時、時間120ミリを超える雨量を観測した。浸水被害は40件程であったが、あと1時間も降り続けば被害件数は相当増えたと思われる。今後、排水路や側溝の設計基準は見直すか。
- A** 国の基準に基づいて行っており、見直し等は現状考えていない。
- Q** 浸水被害が発生した場所のうち、災害発生後に対策が進んでいない箇所について、今後の対策はどのように考えているか伺う。
- A** ハード対策には多額の予算や工事を完了までの期間を要する。避難計画の周知や防災意識の向上といったソフト対策が必要。
- Q** 大雨対策に土のうステーションを設置しているが、概要を伺う。
- A** 島田市役所、六合公民館、初倉公民館、金谷公民館、川根水防倉庫の合計5か所に設置し、砂と袋とスコップを備えている。

水害を治める!



目指せ災害対策、市民満足度100%

あおやま まさとら 青山 真虎議員が問う 金谷天王町の水害対策の工事は



答弁 大代川の合流点に逆流防止弁を取り付ける

- Q** 8年後の災害対策の市民満足度の目標を58%としているが100%を目指すべきではないのか。
- A** 令和6年の調査結果を元にした。
- Q** 床上浸水ゼロなど具体的な目標が必要。台風第15号では市街地でも浸水した。向谷の水門は閉めたか。
- A** 大雨を予測して事前に閉めた。
- Q** 事前対策が万全でも浸水した。水路の耐用水量約60ミリ(1H)と、今回の台風の120ミリ(同)の雨量では間に合わない。改良工事は。
- A** 国が定めた基準で水路は作られた。工事の予定はない。
- Q** 南原は調査中。阪本、天王町は調査後に工事、その他台風のたび浸水する地区の自治会から改良の要望は出ているか。
- A** 確認する。
- Q** リニア水問題、この3か月で未だに開く問題は出たか。
- A** 今のところない。

キャッシュレス



士業からの証明書郵送請求は現状定額小為替払。郵送請求全体では年間約7千件

かわい としや 川合 利也議員が問う 士業へのキャッシュレス対応は



答弁 令和8年度の導入を目指し検討を進めている

- Q** 司法書士会から、戸籍謄本等のオンライン請求及び手数料のキャッシュレス決済の要望があるが。
- A** 士業からのオンライン請求は全国システム構築動向を注視中。手数料のキャッシュレス決済は令和8年度の導入を目指し検討中。
- 決算時の事業評価の改善**
- Q** 決算資料の成果に関する報告書は、成果・課題等の把握が困難。事業評価のため改善が必要では。
- A** 随時修正し、将来はシステム化に向け、他の自治体を調査したい。
- 防災避難規定にスフィア基準明記**
- Q** 地域防災計画等の規定に、スフィア基準などを明記できないか。
- A** スフィア基準による環境整備は進めるが、数値は規定化しない。

金谷公民館



たった3年で市直営に戻る。事業の進め方に問題があった

よこたがわ まさと 横田川 真人議員が問う 3年前と言っていることが違う



答弁 当時の答弁が誤解を与え申し訳なく考えます

- Q** 金谷公民館は直営にしたほうがコストが下がるのか。
- A** 指定管理の場合は残り12年間で1億9800万円。直営にすると1億7200万円となる。
- Q** 3年前は指定管理のほうが良い旨の答弁があったが、間違いだったか。
- A** 事業者の持っているノウハウを生かしきれなかった。また、効率化を図ることができず、経費を抑えることができなかった。
- Q** 「契約だから直営にすることはできない」との答弁があった。これはどうなったか。
- A** 誤解を与える内容であり、申し訳ない。
- Q** 直営にした場合、以前行われていた各種講座は復活するのか。
- A** 現時点で確約はない。誠意をもって講座再開をお願いしたい。

当初予算編成は



令和8年度当初予算編成の基本方針とカスハラ対策について質問した

もちづき ふみひこ
望月 史彦議員が問う
令和8年度当初予算編成の方針は



答弁 市民生活や経済に影響がでる削減はしない

- Q** 市民生活や経済に影響が及ぶ予算削減はしない予算編成方針とのことだが、具体的な内容は。
- A** 基本方針は、恒常的に執行される事務や管理経費など、内部的な経費について全庁的な見直しを行う。市民の安心・安全や日常生活の支援など、市民生活に直結するサービス（福祉、医療、ごみ収集など）や投資的経費は、影響が生じないよう維持する。また、扶助費や人件費の高い委託料は削除対象外とし、公平性を担保する。
- Q** カスタマーハラスメント（以下カスハラとする）対策として、マニュアルや職員が安全に退避できる体制は整備されているか。
- A** 基本方針は令和6年にカスハラ対応マニュアルを策定済み。また、抑止力として録音装置の必要性を認識しており、来年度から一部の所属で導入する。

市民が主役



市民の挑戦を支え、人の力でまちが動き、新しい可能性が未来へ広がる島田へ

おおいし ある ま
大石 歩真議員が問う
「稼ぐまち」の姿とは？



答弁 民間経済が活発で雇用と消費が好循環の状態

- Q** 稼ぐまちの主語は誰と考えるか。
- A** 個人と法人を含む市民全体。
- Q** 行政の役割は何か。
- A** 市民の稼ぐ力を高める環境整備。
- Q** 成果指標はあるか。
- A** 市内総生産額を指標の一つとし、令和9年度に約3952億円を設定している。
- Q** 稼ぐまちへの具体策は。
- A** 交通利便性を活かした企業誘致、企業の生産性向上やDXを支援。資源を生かした観光戦略も推進。
- スポーツを通じた新たな活性化**
- Q** アーバンスポーツ実証の成果は。
- A** 体験会は盛況。街活性化の可能性がある。課題含め検証を進める。
- Q** 大井川流域のスポーツ体験やアクティビティをどう評価するか。
- A** 観光の軸と捉える。にぎわいや交流人口の増加に有効である。

交通安全



自転車に関連した交通事故を防ぐため、自転車の安全利用に係る啓発活動を実施

そね たつひろ
曾根 達裕議員が問う
自転車の交通規則の新制度とは



答弁 交通反則通告制度「青切符」で取り締まり

- Q** 当市における自転車の交通事故の件数と事故の内容は。
- A** 本年、自転車に関係する事故は43件、主に交差点での事故。
- Q** 自転車の交通違反に導入される青切符制度で、何が変わるのか。
- A** 自転車の交通違反が反則金制度の対象となる。16歳以上が対象。
- Q** 16歳未満の自転車利用者への対応方法は。
- A** 違反の場合は指導警告を行い自転車安全指導カードを交付、家族で安全について話し合ってもらおう。
- 新権の動向と市の対応**
- Q** 物価高対策の減税に対する当市の基本的な考えは。
- A** 家計や企業の負担軽減で、経済活動が活発化することがメリット。代替財源が補填されない場合、交付金の減がデメリット。

障がい者福祉

おおげき きぬよ 大関 衣世 議員が問う 障がい者福祉の課題への対応は



みとめあい、ささえあい、
わたしらしく生きる



SDGsは「誰一人取り残さない社会」をつくるために、2030年までに達成すべきゴール

答弁 医療的ケア対応型生活介護事業所の開設

- Q** 医療的ケアが必要な方で市外の施設利用者の人数と理由を伺う。
- A** 実人数は16人で、市内に適応施設がないことが要因である。
- Q** 来春開設予定の生活介護事業所の内容について伺う。
- A** 日中の通所施設で定員は20人。うち、医療的ケア対応は10人。
- Q** 圏域連携についての考え方及び課題は何か。
- A** 圏域内の連携は不可欠と考える。志太榛原自立支援推進会議や、その専門部会において、圏域内の情報共有や課題の整理、体制整備について協議を行っている。
- 専門部会では、医療と福祉の連携が不十分であることや短期入所事業の提供不足が課題に挙げられた。
- Q** 病院の協力が必要と思うが。
- A** 医療的ケアと個別の障害特性への適切な対応が必要。様々な形態の施設整備を柔軟に考えていく。

伝統の島田大祭

あまの ひろし 天野 弘 議員が問う 大祭の今後の継続のためには



長唄や三味線等の一流芸人を招いた伝統ある島田大祭の屋台奉納上踊り

答弁 青年の確保と社会情勢に合った運営

- Q** 伝統の島田大祭へ行政の支援は。
- A** 大祭保存振興会や観光協会に補助金計3650万円を交付。
- Q** 大祭の参加者数はどうか。
- A** 参加者数は回を追うごと減少傾向だが、今回は市内外からの参加が増加。中高生の活躍が目立った。
- Q** 大祭を続けていくための課題は。
- A** 青年の参加数の減少対策や、社会情勢にあった運営の検討が必要。
- 大規模災害時の行政の役割**
- Q** 大規模災害時、財政的支援はどのようになっているのか。
- A** 災害救助法に基づき、国が対応。
- Q** 島田市の住宅耐震化率は。
- A** 耐震化率は93・7%と不十分。
- Q** 災害関連死の予防対策は。
- A** 保健師が避難所を巡回指導する。
- Q** 災害廃棄物の仮置き場の想定は。
- A** 市内4地区に各1か所を想定。

茶園の価値

まつもと あきら 松本 晃 議員が問う 耕作放棄茶園対策の課題は



茶園には景観的価値があり地域資源である。耕作放棄茶園へのさらなる支援が必要

答弁 県と市それぞれへの申請手続きが煩雑

- Q** 市独自で、農家の方が利用しやすい手軽な補助事業は可能か。
- A** 農業者から意見を伺い、荒廃農地再生となる施策を調査研究する。
- Q** 茶園は景観形成事業補助金交付制度の対象になるか。
- A** 対象としていない。
- ふるさと寄附金の運用**
- Q** 用途区分にお茶を追加すれば、耕作放棄茶園対策に充当可能か。
- A** 用途を設定した場合、お茶関連の事業への予算充当は可能である。
- 浸水対策**
- Q** 雨水浸透ますの補助の拡充は。
- A** 水害は補助制度の対象範囲外でも発生した。調査研究を進めたい。
- Q** 止水板の導入の検討は。
- A** 現時点では検討は行っていない。

水道管の老朽化



生活に最も重要な水道水の確保は、水道料金の改定も含め利用者の理解も必要では？

やぎのぶお 八木 伸雄 議員が問う 水道管老朽化の実態と対策は！



【答弁】 使えるものは使い、長寿命化を図る

- 【Q】 水道水の総送水量に対し利用されている水量を示す有収率は、川根・島田地区、それぞれ何%か。
- 【A】 金谷の大井上水道企業団は82%。市の水道で川根・島田別の算出はしていないが、全体で72%だ。
- 【Q】 料金の高い大井上水道企業団より、料金の安い市の企業会計の方が漏水している。老朽化対策は。
- 【A】 送水施設は国の基準を守り、メンテナンスを行うとともに、ポンプの故障や交換のために複数の機械設備を交互に使用することで長寿命化を図っている。
- 【Q】 老朽化した送水管の更新率は。
- 【A】 送水管は年4%更新をしている。
- 【Q】 漏水の目安でもある有収率が、毎年0.2%悪化している。更新が老朽化に追いつかない。料金改定も含む維持管理が必要では。
- 【A】 経年劣化率ではなく、使えるものは使い、長寿命化を図っていく。

楽しく通う学校



不登校を個人の問題とせず、子どもの権利条約に則ってストレスをなくすことが必要

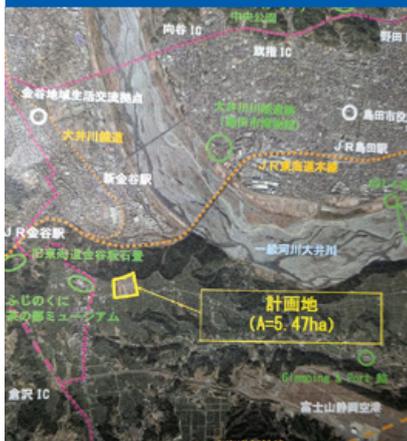
よつやめぐみ 四ツ谷 恵 議員が問う 不登校児童生徒へ丁寧な支援を



【答弁】 校内教育支援センターを設置し柔軟に対応

- 【Q】 全国では不登校が約35・5万人と増加し、本市でも約230人と聞く。要因は何か。
- 【A】 不登校は小学5・6年、中学2・3年で増加。原因は無気力・不安・友人関係など多様化。いじめが影響する場合もある。
- 【Q】 不登校への具体的な支援策は。
- 【A】 今年度から校内教育支援センターを設置し、安心して過ごせる居場所を確保した。登校や教室復帰につながっている。
- 【Q】 学校統廃合の影響による児童生徒の心のケアの実施はどうか。
- 【A】 教職員の加配で手厚い対応を心掛けた。学校生活アンケートを基に不安がなくなるよう対応した。
- 【Q】 教職員の多忙化を解消するための改善策と成果はあるか。
- 【A】 教職員の負担軽減のため学校教育支援員・図書館支援員を配置。校務の効率化・DX化を進めている。

旧金中跡地



50年近く荒地のままの母校の跡地を早くよみがえらせた

なかだ あきら 仲田 明 議員が問う 旧金谷中学校跡地の活用策は



【答弁】 民間事業者に対しヒアリングを進めている

- 【Q】 検討の方向性、時期は。
- 【A】 現在進行中の調査結果、庁内検討を踏まえ年内には示したい。
- 【Q】 にぎわい交流拠点の整備か。
- 【A】 国の交付金を受ける際の条件である整備計画に基づく整備が必要。
- 【Q】 今回のヒアリングの規模は。
- 【A】 県内事業者20社、県外事業者5社程度を考えている。
- 【Q】 地域資源の活用が重要では。
- 【A】 採算性にも留意する必要がある。
- 【Q】 荒廃農地、放棄茶園の拡大防止
- 【A】 荒廃農地解消のための補助は。
- 【Q】 荒廃農地再生・集積促進事業。
- 【A】 担い手への農地の集積の課題は。
- 【Q】 狭小あるいは不整形により作業効率が悪い。
- 【A】 収益性の高い作物への転作は。
- 【Q】 JA大井川では落花生、さつまいも、トウモロコシ等を例示。

運営状況の実態



経営努力しても損失が上回っており、現在の診療報酬制度では厳しい状況

いわさき よしみ 岩崎 好美議員が問う 医療センターの運営方針は



答弁 厳しい経営環境にあっても患者の尊厳を守る

- Q** 質の高い医療とは何か。
- A** 最新の医療技術や医療機器を使い、最も安全かつ効果的な治療を提供すること。
- Q** 職員の接遇に対する取り組みは。
- A** 接遇委員会で毎年研修を実施。
- Q** 患者の入退院に関わる地域との連携をスムーズにする工夫は。
- A** 患者支援を専門に行う地域医療支援センターを設けている。
- Q** 行き過ぎたハラスメント行為や職員の体に故意に触れるなどの行為に対して、法的手段もあると明記をされているか。
- A** 患者等に分かるように冊子等にも記載していきたい。
- Q** 看護学校の応募状況はどうか。
- A** 推薦と社会人枠は減少している。
- Q** 医療センターの直近3年間の経営状況はどうか。
- A** 経費が増加しており非常に厳しい状況だが、収益も伸びている。

多文化共生



外国人が生活に必要な情報が詰まった「外国人らくらく島田せいかつ」

よこやま かおり 横山 香理議員が問う お互いの理解を深めるためには…



答弁 機会を捉えて交流できる体制をつくる

- Q** 当市に住む外国人の人数と、外国人のみで生活する世帯数は。また、どの自治会が多いか。
- A** 令和7年10月末現在2195人で世帯は1496世帯。3年前と比較して、557人、525世帯の増加。多い順に井口221人、大柳179人、東町113人。
- Q** 地域への理解を深めるための交流会や説明会などの取り組みは。
- A** 自治会等からの相談は、まず多文化共生の担当で対応する。フレンドシップパーティーに多くの市民が参加する体制づくりや、情報提供に力を入れるなど、市民の理解を深める取り組みを進めたい。
- Q** 相談窓口を設置する考えは。
- A** 初倉行政サービスセンター内に令和8年度から開設する。相談内容は生活相談を基本に、専門的な内容は、担当課及び関係機関と連携し対応する。

儲かる観光戦略



市内事業者が儲かる観光戦略で島田市の税収を爆増させる政策を求める

みむら たかひさ 三村 隆久議員が問う 本市観光のウィークポイントは



答弁 観光消費単価が低い

- Q** 産業連関表を作成することで、どのような効果があるか。
- A** 経済波及効果が可視化されることで施策立案に生かすことができる。
- Q** 島田駅前のコインロッカー、レンタルサイクルの整備をしてほしい。
- A** 計画上令和8年に実施予定。
- Q** 茶娘踊りをプロモーション団体にしたらどうか。
- A** 現在、組織化に向けて募集活動をしている。
- Q** 観光消費単価が低いことへの対策は。
- A** ツアー企画の誘致活動、ナイトツーリズムやスポーツツーリズムを造成していきたい。

議員の保険制度加入状況について

1月下旬に報道されました、当市議会議員である三村隆久議員のいわゆる国保税を免れていた行為は、市民の皆様の厳粛な信託を受けた市議会議員として、市民の皆様の信頼を損なう行為であったことをお詫び申し上げます。今回の事案を受け、島田市議会では島田市議会議員政治倫理規程の規定に基づき、議員に警告書を発し、誓約書を提出させました。

また、全議員に対し保険の加入状況を調査しましたのでその結果を報告します。

■国民健康保険

12人

■社会保険（健保・共済組合含む）

8人

社会保険加入者については、報酬額や勤務時間などについて、今回の報道事案と同様の内容は確認されませんでした。

本会議・常任委員会などの議員出欠状況

令和7年11月定例会期中の本会議及び委員会などへの出欠状況を記載しています。

「○」は出席、「△」は遅参・早退等、「×」は欠席、「-」は所属外であることを表しています。

開催日	内 容	副議長										議長										
		横山 香理	瀧 好伸	曾根 達裕	石川晋太郎	井上 篤	天野 弘	横田川真人	川合 利也	大関 衣世	四ツ谷 恵	望月 史彦	内田 修	清水 唯史	三村 隆久	松本 晃	仲田 明	大石 歩真	青山 真虎	岩崎 好美	八木 伸雄	
		清流の風					輝く島田	公明党 島田市議会	日本共産党 島田市議団	創造島田												
11月20日	議会運営委員会・本会議(初日) 広報広聴特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月1日	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月2日	議会運営委員会・本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月3日	本会議(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月5日	本会議(議案質疑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月8日	厚生教育分科会・常任委員会 経済建設分科会・常任委員会	-	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	
12月9日	総務生活分科会・常任委員会	○	-	-	-	○	-	×	○	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	
12月11日	予算決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	
12月18日	議会運営委員会	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
12月19日	本会議(最終日) 広報広聴特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※会派構成は令和8年2月13日現在

ちゅうがくせい ていげん しぎかい さんか 中学生の提言に市議会が参加

ちゅうがくせい しぎかい しんぶん 中学生議会新聞

はっこうしゃ
発行者
しまだしぎかい
島田市議会
こうほうこうちほくとくついいんかい
広報広聴特別委員会

金谷中学校 探究学習

島田市議会では、11月13日に金谷中学校を訪問し、令和7年度「総合的な学習の時間」における探究学習に参加しました。対象は3年生161名で、生徒が自分たちの住む島田市の現状や課題を捉え、「好き・得意・



大事」を生かしながら、自らの言葉で提言することを目的とした学習です。本取組は、2年生時に実施した探究学習「KGP（金谷元気プロジェクト）」を踏まえ、生徒の一方的な提案ではなく、市の抱える課題を起点に進められています。

授業では、島田市の総合計画や議会の情報、社会情勢などを参考に、9分野から課題を選択

し、解決策を検討。各グループが5分間の発表を行い、市議会議員が感想や助言を伝えました。議会として、生徒の主体的な学びと市政への関心に触れる貴重な機会となりました。

感想や成果

金谷中学校の生徒からはこんな感想等がありました。市の課題を深く調べ議員に伝わる提言を意識して考えた、仲間の意見を聞き役割分担しながら協力できた、自分の得意分野に気づいたなど、主体性や対話力の成長を実感する声とともに、今後への意欲を感じる声が多く寄せられました。



編集後記

生徒一人ひとりが、島田市を自分事として捉え、真剣に課題と向き合う姿が印象的でした。議会や総合計画を読み込み、自らの「好き・得意・大事」を重ねて提言する姿勢に、未来への可能性を感じます。議会としても、こうした若い世代の声に耳を傾け、市政に生かしていくことの大切さを改めて実感しました。

議会報告会を開催しました！

市議会では、より開かれた議会を目指し、市民の皆さまと直接意見の交換を行う「議会報告会」を開催しています。令和7年度は、3つの常任委員会がそれぞれテーマを設定し開催しました。

過去に開催された議会報告会についての報告書は、こちらからご覧いただけます。



厚生教育常任委員会 11月6日

テーマ：学校施設の整備について



厚生教育常任委員会は、市民と学校環境や不登校問題について意見交換を行いました。空調整備やトイレの洋式化、老朽化した校舎の修繕など安全な学習環境づくりへの要望が多く、不登校・いじめ・発達障害への支援体制の不足も指摘されました。委員会は今後、現地調査や予算審査を通じて改善に取り組んでまいります。

経済建設常任委員会 11月7日

テーマ：森林整備及び林業振興

経済建設常任委員会は、森林整備及び林業振興をテーマに、市内の森林・林業関係者の皆さんと意見交換を行いました。森林業における根本的な担い手不足の解消や、現行制度の更なる有効活用等についてご意見をいただきました。委員会では森林・林業関係事業の拡充に向け、いただいたご意見を市政に反映できるように努めて参ります。



総務生活常任委員会 11月15日

テーマ：ごみ減量とごみの捨て方のマナーの啓発について



総務生活常任委員会は、市民の皆さんにとって身近な「ごみ問題」について意見交換を行いました。ごみの分別の周知・徹底の重要性について多くの意見をいただきました。委員会としても改めて課題意識を持ち、引き続き市当局と対応策について議論を重ねていきます。また新たなごみ処理方法についても調査・研究を続けて参ります。

総務生活常任委員会

令和7年10月15日 香川県三豊市

内容 バイオマス資源化センターみとよについて

「燃やさないごみ処理方法＝好気性発酵乾燥方式」を視察しました。「好気性発酵乾燥方式」とは、微生物が酸素を使って有機物（生ごみなど）を分解する仕組みを利用した、環境に配慮されたごみ処理方法です。島田市での導入について、コスト面、環境面で考えても十分に検討する価値があるものと感じました。



令和7年10月16日 香川県高松市

内容 「スマートシティたかまつ」について

市民全員がデジタル技術を活用でき、社会全体のDXを進めることで、誰もが、どこからでも利便性を享受できる「スマートシティたかまつ」を視察しました。防災や観光におけるデータ収集及びリアルタイム情報の共有は、大変参考になる事例でした。



厚生教育常任委員会

令和7年12月24日 市内学校施設

内容 学校施設の維持修繕費の拡充について

令和8年度島田市一般会計予算審査の参考及び委員会での政策実現のため、市内学校施設の状態や空調、トイレ等について現地調査を行いました。委員会では今後も定期的に視察を実施し、限られた予算の中でできる限りの改善を当局に求めています。



令和8年1月16日 島田市教育センター

内容 不登校対策について

教育センターで実施をしている教育相談室、チャレンジ教室の視察や、教育関係者との意見交換を実施しました。全国的に課題となっている不登校に対する当市の取組について改めて再確認するとともに、子どもたちが安心して学べる環境づくりのため、更なる取組の重要性を強く感じました。



経済建設常任委員会

令和7年10月20日 新潟県十日町市

内容 大地の芸術祭現地視察
大地の芸術祭などアートを活用した
観光・地域づくりについて

アートを道しるべに越後妻有の里山を巡る、世界最大級の国際芸術祭を視察しました。アートによる地域づくりの先進事例として、国内外から注目を集めています。市民、地域団体、企業、国を巻き込んだ取組であり、各施設の雰囲気、来訪者数、定住者数からは地域活性化策としての効果が感じられました。



令和7年10月21日 新潟県上越市

内容 森林環境譲与税を活用した
森林整備等の取組について

森林環境譲与税を活用し、森林環境の保全や林業関係者の担い手不足の解消に取り組む、先進事例を視察しました。

森林所有者との意識合わせや意向調査の回答率の高さ、林業関係者へのスマート林業の浸透など、島田市が見習いたい点が多くありました。



しまだ議会だよりの愛称が決定しました！

しまだ議会だよりの

『橋わたし』

昨年8月から10月にかけて募集した、しまだ議会だよりの愛称は、広報広聴特別委員会による選定、皆様からの投票を経て「橋わたし」に決定しました。本特別委員会の委員長及び副委員長から、採用者の望月さんへお礼のご挨拶をさせていただきました。望月さんからは「議会が行政と市民の橋わたし役であってほしいという思いをこめました。島田市の歴史である川越も意識しています。」とお話をいただきました。委員からは、投票数が多かったことに加え、島田市の地域性も出つつ、議会や議員の役割を表していると評価させていただきました。ご応募及びご投票いただいた皆様、本当にありがとうございました。今後ともしまだ議会だよりをよろしく願います。



編集後記

議会だよりをお読みいただきありがとうございます。このたび、島田市議会だよりの愛称が「橋わたし」に決定しました。市民の皆様から寄せられた素晴らしいアイデアと、投票によるご協力に深く感謝申し上げます。この愛称には、議会だよりが市民の皆様と議会をつなぐ「橋わたし役」となるよう、親しみをもってほしいという思いが込められています。今後は、表紙やロゴについてもさらに検討を重ね、皆様に一層愛される議会だよりを目指してまいります。



広報広聴特別委員会

- 【委員長】井上 篤
 【副委員長】大石 歩真
 【委員】瀧 好伸、川合 利也
 内田 修、八木 伸雄

2月定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。市役所4階の議会事務局までお越しください。

インターネット中継もどうぞ

本会議（水色のラインで示された日）は島田市議会ホームページの「会議の映像配信」でもご覧いただけます。



日	月	火	水	木	金	土
2/15	16	17	18	19	20	21
	議会運営委員会 本会議（初日）	常任・特別委員会 （厚生教育） （経済建設） （総務生活）	常任・特別委員会 （予備日） 予算・決算特別委員会			
22	23	24	25	26	27	28
	天皇誕生日	議会運営委員会	本会議			
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 （一般質問）	議会運営委員会 本会議 （一般質問）	本会議 （一般質問）		本会議 （議案質疑）	
8	9	10	11	12	13	14
	常任・特別委員会 （厚生教育）	常任・特別委員会 （経済建設）	常任・特別委員会 （総務生活）	常任・特別委員会 （予備日）		
15	16	17	18	19	20	21
	予算・決算特別委員会				春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
		議会運営委員会	本会議 （最終日）			

開始時間 午前9時30分（次の会議を除く）

- ・本会議前の議会運営委員会 午前9時
 - ・2/17各常任・特別委員会 午前9時
 - ・2/18予算・決算特別委員会 午後1時30分
- 日程は変更となる場合があります。最新の情報は、ホームページまたは電話にてお問い合わせください。